

総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会  
省エネルギー小委員会テレビジョン受信機  
判断基準ワーキンググループ（第1回）  
議事要旨

1. 日 時：2019年1月28日（月）10:00～12:00

2. 場 所：経済産業省別館3階302共用会議室

3. 出席者

委員：相田座長、石原委員、甲藤委員、関根委員、中村委員、三上委員、  
村上委員

オブザーバー：青嶋オブザーバー、田島オブザーバー  
（電子情報技術産業協会）

事務局：吉田省エネルギー課長、井出省エネルギー課課長補佐、  
小野省エネルギー課係員

4. 議 題：

- （1）議事の取扱い等について
- （2）テレビジョン受信機の現状について
- （3）テレビジョン受信機の対象範囲について（案）
- （4）テレビジョン受信機のエネルギー消費効率並びに測定方法について（案）

5. 議事要旨

○議題（1）議事の取扱い等について  
議事の取扱い等について、了承された。

○議題（2）テレビジョン受信機の現状について  
委員の主な意見は以下のとおり。

- ・テレビの出荷台数について、2009年頃から液晶テレビとプラズマテレビの出荷台数が合算されているが、これはなぜか。
- ⇒（回答）プラズマテレビの出荷台数減少に伴い、液晶テレビと合算して

統計されている。

○議題（３）テレビジョン受信機の対象範囲について（案）

テレビジョン受信機の対象範囲について、了承された。

○議題（４）テレビジョン受信機のエネルギー消費効率並びに測定方法について（案）

測定方法について、アンケートの結果を踏まえて座長と事務局で測定方法案を作成し、改めてWGを開催して測定方法を確定させることとなった。委員の主な意見は以下のとおり。

- ・輝度条件について、海外の条件ではなく国内の実態に合わせる場合、海外よりも高い輝度条件となる可能性もある。こういった水準の輝度条件を設定するかが重要と考える。
  - ・今後、アンケートをどのように実施するのか。
- ⇒（回答）測定方法を確立させたいことから、最大輝度等の輝度に関するアンケートを実施したい。アンケートでは、輝度と相関関係があるかもしれない要素として、表示デバイスの別、画素数、サイズについても伺うことを考えている。その後、測定方法を確立させた上で、新たな測定方法に基づく年間消費電力量等のアンケートを実施したい。このアンケートでは、年間消費電力量の算定に用いられる動作時や待機時等の各消費電力量に加え、搭載されている省エネ技術についても伺うことを考えている。
- ・提案されている算定式では、動作時、待機時、EPG取得時の電力量は考慮されている。他方、番組を録画して視聴する人も多いと思われるが、こうした機能について算定式で考慮する必要はないのか。
- ⇒（回答）現行では、録画機能の有無で区分が分かれており、録画機能を有するテレビについては基準式の切片で録画機能分の電力量を考慮している。テレビの録画機能の電力使用量の実態が、算定式と大きな乖離があれば、算定式の見直しも必要と考えている。

以上

お問合せ先

資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部 省エネルギー課

Tel 03-3501-9726 Fax 03-3501-8396